**大村ロータリークラブ週報**

2021～2022年度　　No.32

令和 4年 6月 21日　発行

（通算例会　3014回）

会長　竹房　政美　幹事　田原　範隆



回）

事務所：大村市東三城町１２－１（和光マンションＤ）TEL:0957-42-6192/FAX：0957-42-6193

例会場：長崎インターナショナルホテル　毎週火曜日　12：30～（但し　第4火曜日　於：梅ヶ枝荘・いけす割烹寿楽）

2021年～22年度　国際ロータリーのテーマ

**『奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために』**

RI会長　シェカール・メータ

2021年～22年度　大村ロータリークラブのテーマ

**『奉仕の意義を探求し、風通しの良いクラブ作りを目指そう！』**

**会長の時間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6月14日**

　みなさん、こんにちは。まずは、一昨日の第42回空き缶等回収キャンペーンに参加された皆様、大変お疲れ様でした。当クラブからは17名という大勢の会員の方にご参加頂き、朝から晴天に恵まれて、心地よい汗をかくことが出来ました。しかし、いよいよ九州北部も先週土曜日に梅雨入りしたようです。平年より７日遅く、昨年より31日遅い梅雨入りとなりました。

　つぎに、皆様に1つ報告があります。今月28日の最終例会に、**角館ＲＣの三浦会長**が出席されることになりました。先月実施しました**「稚アユ放流事業」**の話もあるかと思いますが、東北に赴く直前に、参加者の皆様には、**木下君**よりご提供頂いた**「角館クラブと姉妹クラブに至った経緯」**についての文書を配布した所であります。その文書には、角館クラブは大村クラブと姉妹締結に至る前に、**青森の弘前クラブ**との姉妹締結の話があったと記されていました。角館の三浦会長も、その文書を読んで調べられたのでしょうか。先日電話で話した際に、**「弘前クラブとの姉妹締結に関する古い文書が見つかりました。大村クラブさんの例会の中で、お話しさせて頂きます」**とのことです。一体、どういった経緯で**弘前クラブ**との姉妹締結ではなく、**大村クラブ**と**姉妹締結**することに至ったのか、非常に興味深い話であります。

　さて今日で、会長の時間も残すところ３回となりました。今月６月は、**「ロータリー親睦活動月間」**となっておりますので、少しだけこの話をしたいと思います。ロータリーの本質は、**「親睦と奉仕」**だと言われることが多いと思いますし、むしろ**「親睦」**が強調される場合もあります。だとするならば、新入会員の入会も多い新年度の初めである７月とか８月に**「親睦活動月間」**を設けて、**「親睦」**とは何かを考える機会にした方が良さそうな気もします。年度の終わりに今更**「親睦活動月間」**と言われても、と思ってしまいます。

　ではなぜ、**「親睦活動月間」**が年度末の６月に設けられているのでしょうか。その理由の１つが、**第2840地区**の過去のガバナー月信に書かれていました。それは、**「この時期に国際大会が開かれるためのようです」**とされ、「親睦と奉仕はロータリーの基本ですが、全てのロータリアンが世界中あらゆる分野でフェローシップを拡大することが、世界の平和の礎を築くことに貢献する」と国際大会の目的が記されています。簡単に言うと、年度末最後の国際大会では、クラブや地区の垣根を越えて、世界的な親睦を深めるという意味で、「月間」になっているのでしょうか。

　２つ目の理由は、**第2660地区**の過去のガバナー月信に書かれていました。引用しますと、「我々はクラブで奉仕活動を行い、達成感を持って気分良く終了できた場合、会員相互の人間関係は明らかによくなります。しかし、もし奉仕作業の過程で意見の不一致から会員間に感情の縺れが生じたり、一部の会員の仕事が十分評価されずに 不満が生じたならば、たとえその奉仕活動がどんなに愛に満ち、賞賛や感謝を受けたものであっても、ロータリーの評価基準からいうと成功とはいえません。」とされています。これは、**１年間の奉仕なり親睦活動を振り返って、評価なり反省を行う機会を設ける**ということだと思われます。当クラブでも、先週、親睦活動委員会の反省会というか打ち上げを行いました。コロナの制約を受けながらも、各メンバーが個性を発揮して全ての事業を成功に導いたということで、美味しいお酒を呑むことが出来ました。

　私が調べた限りでは、６月に**「親睦活動月間」**が設けられているのは、大きくは以上の２つの理由によるのではないかとの結論に至りました。

　最後に、**第2610地区**の過去のガバナー月信に**「親睦活動月間を考える」**と題した寄稿がりましたので、それを紹介して終わります。

「ロータリーにおける親睦には２つの意味があると思う。第１は、クラブが何か事業を実施する場合、全員の意思統一やクラブが一丸となる実行力が必要で、そのためには日頃から親睦を培っておくことが大切だということ。第２は、親睦を通じて友人の輪を広げ新しい人脈を作っていくこと。それが会員増強にもつながっていく。つまり、クラブ内部における親睦と同時に、自分のクラブだけでなく他クラブや地域の人たちとの交わりも重要なのだ。**言い換えれば、クラブが大した事業も行わず、ただ惰性的に内部の親睦だけをしているのでは意味がない。全員一丸となって事業を行った達成感は心地よいものである。そこにドラマがあり本当の親睦が芽生える。**」と記されています。確かにこれは、自分自身55周年記念事業でも経験しましたし、先月の東北交流事業でも**「達成感」**や**「ドラマ」**、そして**「親睦」**というものを身近に感じた瞬間だったように思います。

以上、本日の会長の時間を終わります。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

６月14日の催し**～　雑誌の時間⑨　ロータリーの友6月号より ～**

木下　一功

人は読書によって、「変える力・違いをもたらす力」をもつように出来たかを、検証してきました。今日は最終回ですから、読書によって影響を受けた、私の一例を申し上げ終わりたいと思います。

昨年度の、大河ドラマ「晴天を衝け」は**渋沢栄一**の生涯を描いた物語でした。渋沢栄一の経営哲学はどこから来たのか。彼は幼少の頃より、**孔子の論語**を**「**むさぼるように読んだ**」「**なめる様に繰り返し読んだ**」**と言われています。孔子の道のポイントは**「思いやり」**であると思います。そして論語の一大精神は**「忠恕」の心**です。忠恕とは真心と他人に対する思いやりであり、忠実で同情心が厚いことです。渋沢栄一氏にとっての論語は**実学**であった訳です。

私の孫と同じ年齢の、若者の話題からです。　今注目を浴びているプロ野球選手エンゼルスの**大谷翔平選手**のお勧めの本を紹介しましょう。

２７才の若さで、何冊もの難しい本を読破している読書家とは、私にとっては驚きでした。　読書法として、同じ本をくり返し何度も読むようにしていると応えています。彼の愛読書の中から３冊を紹介します。

彼の野球人生に影響を与えているとされる**中村天風書**の**「運命を拓く」**の内容は、まず人間を創れ、魂を磨け、さすれば幸福は向こうからやってくると言っています。たとえ人生に苦難や苦痛があろうとも、それを心の力で喜びと感謝に振り替えていくというものです。名言として**「今日一日　怒らず 恐れず 悲しまず生きよう」**は有名です。１９６８年国より公益性が認められ**「財団法人天風会」**になっている権威あるものです。

最近「大谷翔平を育てた中村天風のことば」の本まで出版されているそうです。天風師の言葉に彼は、心酔したとまで言われています。

私は５１才の時、中村天風師の「盛大な人生」の本との出会いが初めてですから驚きです。

次に**富の福音、 (アンドリュー・カーネギー書)**アメリカの実業家です。

鉄鋼王と呼ばれ、１００年以上読み継がれています。

本の内容は**「**より良い成果が得られるのは、自分か一番好きな仕事をしている時だろう、だから自分の目標には自分が好きことを選ぶべきである**」**と提言しています。「賢い人は、徹底的に楽天家である、笑い声のないところに成功はない」とまで言っています。

影響を受けた次の本として**成功の情熱「稲盛和夫書」**からです。

稲盛氏の人生哲学　成功哲学が述べられている本です。

大切なのは、**「**もうだめだ**」「**無理だ**」**と思った時に、その壁を乗り越えられるかどうか。そこが成功できるか、できないのかを、決定するポイントであると強調しています。一生懸命頑張って、**「**世の中にこれを残す事ができた**」**と思える生き方こそ幸せであると、思いを述べています。大谷選手が、読書で学んだであろう、その人間性と二刀流の能力が国民的人気を集めているように思います。

手前味噌になるかもしれませんが、読書によって影響を受け、私が実践している一つを紹介します。健康を保持するために、実行している事についてです。(ここからは貞松俊弘君の助言を受けたいと思います)。

私は５９歳の時に、心筋梗塞で入院しました。退屈な病院のベッドで読んでいた、ある本の中の一項目が目にとまったのが、**歩く効果**についてでした。**「**足の筋肉を使うだけでなく、身体の筋肉の６０～70％に関連した働きで想像以上の全身運動である。歩くことにより心臓や内臓も鍛えることが出来る**」**と書いてありました。すぐにメモを取りました。今考えてみると、ロータリーの哲学である**「変える力・違いをもたらす力」**である日常生活を、変えようと決心したように思います。3年後、大腸癌を患って以来、前から興味があったガーデニングを楽しんでいます。今年はバラの花が最高でしたよ。今はアジサイの花が満開です。庭の花壇は不思議なくらい私の心を癒してくれます。庭仕事は、脳に幸せの化学物質を増やすと、脳科学者**茂木健一郎**は勧めています｡

ウォーキングは大村公園が中心で、３～４キロで、１時間ほど歩きます。歩き続けて、２４～５年になるでしょうか。徐々に腰も悪くなり、若い時とは距離も短くなり、場所も４度ほど変更しています。歩いていると、堂々とそびえ立っている楠木の巨木の数々を見上げ、崖ぶちにしがみついて、しっかり根を張って、花を咲かせている椿の木を私の人生と重ね合わせたりします。古木であろうか、真っ二つ割れ、枯れているようだが、その周囲からは２～３本芽吹があり、次の時代に続くという宇宙の自然道理のように思います。思いをめぐらしながら高揚した心で、先に進む一歩に元気が出ます。

又、最近読んだ本の中に、**歩行について**、別の視点から見る、精神科医聖路加国際病院の**保坂　隆**先生は「歩行は脳の働きを活性化させ、歩く事によって筋肉の知覚神経が刺激を受け、それが脳にも伝わり、脳全体の

働きが活発になる。骨への刺激と免疫力も高くなる」と、「歩く事」は**脳**と**体**を鍛える一石二鳥というわけです。

脳科学者**茂木健一郎**氏は初老以降の人間が、知力を維持したいと思うなら、記憶力を鍛え多くの記憶を持ち続ける事にあると、助言しています。あれこれ考えた末、歩きながら、孔子　老子　孟子　等のそれぞれの好きな語録を暗記するように努めています。時間の都合で一つだけ紹介します。

孔子の論語からです。**「天意夕日を重んじ、人間晩成を貴ぶ」**若い時欠点があっても、晩年が良ければその人の価値は上がってくると言う意味です。私の座右の銘にしています。

　こうして元気にロータリーの例会に出席できるのも、卓話ができるのも歩き続ける結果の、ご褒美ではないかと、感謝しています。健康である事の喜び、楽しい時の喜び、これ以上のものはないと思います。

読書は人間を創る上で欠かせないものであり、本を読むことによって生きがいと感動を与えてくれます。そして自分の心に潤いをもたらし自分の心を正常に戻してくれます。つまり人格を磨いて、成長させる手段なのです。ロータリー人生の目的は、人間を創ることにあります。

最後になりましたが、ロータリーの友６月号は『規定審議会から見えてくるロータリーの方向性』と言う特集があります。(Ｐ８～１９)３年に一度の規定審議会ですが、入会してからのことを考えると、大分様変わりしています。歴史が見えてきます。これは私の保存版ですが、ぜひ読んでほしいと思います。

**【1年の活動報告②】**

**奉仕プロジェクト委員長　森本　大輔**

☆次週掲載予定です☆

**ロータリー財団委員会　烏山　雅之**

ロータリー財団委員会の活動を通して、本年度基本方針に記載したように「寄付」に対する理解と推進を図ることを目指した。実績は以下の通りであり、ロータリー財団に関する情報提供ができなかったことや未実施となった事業を含め、本委員会の活動に対して、寛容なるお気持ちでご助力いただきました会員の皆様に感謝を申し上げます。

1. 卓話の実施

卓話Ａ(外部)10月5日　ジャクソン・Ｍ・ギャロット様

卓話Ｂ(関係者)11月2日　駒井米山記念奨学会理事

1. 月1回の軽食日設定による差額分をロータリー財団への寄付とする

1000＄をポリオプラスへ寄付

1. ロータリー財団への寄付目標額1人平均150＄とし、推進する

総額4200＄の寄付

1. 米山記念奨学会への寄付目標を1人平均16000円とし、推進する

総額166000円を寄付

1. 米山記念奨学生を例会に招聘し、卓話を実施する

コロナ禍の為、5月17日の招聘のみであり、卓話は未実施となった

1. ポール・ハリス・フェローの輩出を推進する

ポール・ハリス・フェロー：烏山 雅之

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー：木下 一功、竹房 政美、中島 悟、久松 清彦、森本 大輔

1. 新入会員加入時1000円の協力を現会員に依頼して、事業積立金へ積み立てる

2名の新入会があり、総額80000円を事業積立金へ

**地区資金管理委員長　西川　義文**

ロータリー財団は、人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を推進するプロジェクトに補助金を授与します。財団を通してロータリー会員は数千ものプロジェクトを実施して世界中で安全な水の提供、疾病との闘い、平和の推進基本教育の提供、地域経済の発展を支援してきました。そしてロータリー財団は世界の先頭に立ってポリオ撲滅のリーダー的存在でもあります。そういう崇高な理念のもとに2740地区財団委員会は今年度もグローバル補助金を用いた奨学生の派遣を行い世界中で活躍できる人材を育てていますし地区補助金を使って、

・17のクラブから申請があり、うち13クラブで地区補助金を活用した事業がありました。（４クラブ取り下げ）

・GG奨学生に漏れた１名を地区補助金に切り替え留学させました

・地区補助金事業としてロータリーデイでの清掃活動（海洋廃プラごみ清掃）を行い、使用した幟を従事したクラブに寄贈しました

・モンゴルにおける肝炎.肝臓がん対策地域医療チーム派遣支援事業

・地区VTT事業…ネパールRAC会員交流支援

　ロータリー財団委員会の２大セミナ－11月の財団セミナー・2月の補助金管理セミナーがコロナ禍のため開催できませんでした。参加対象を大幅に縮小して開催することや、ZOOMでの開催も検討しましたが結果として2年連続で中止となったことを深くお詫びいたします。そうした中、財団グループ内の勉強会、グローバル補助金（GG）奨学生の面接選考会は可能なかぎり行うことができました。

コロナ禍で各クラブの例会も休会が相次ぎましたが、各委員長や補助金小委員長各位のご尽力と皆様のご支援でなんとかこれらの活動ができました。紙面を借りてお礼申し上げます。

◆◆◆本日のプログラム◆◆◆

ロータリー情報、一年間の活動報告③(SAA、地区補助金委員長、地区RYLA委員、地区RLI推進委員)

◆◆◆次週(6/28)の予定◆◆◆

一年間の活動報告④(第7Gガバナー補佐、会長、幹事)、役員交代式(タスキ引渡し、花束贈呈)

６月14日の催し

【四つのテスト唱和】西畑　直君

【2021-2022年度大村RCテーマ唱和】

【米山記念奨学金授与】

公財）ロータリー米山記念奨学生

マガル・パビトラ・プンジェリさん

【雑誌の時間⑨】木下　一功君

【一年間の活動報告②】

　奉仕プロジェクト委員会　森本　大輔委員長

　ロータリー財団委員会　　烏山　雅之委員長

地区 資金管理委員会　　　西川　義文委員長

【出席率発表】梅澤　成朗君

【ニコニコBOX】渡邉　雅大君

≪ゲスト・ビジターのご紹介≫

公財）ロータリー米山記念奨学生

マガル・パビトラ・プンジェリさん

≪会員数≫ 42名　出席者数 35名　出席率85.3％

出席率(5/24)92.3%

≪欠席者≫ 江口君　隅田君　為永君　野島君　久松君

　　　　　 山口君

≪免除者≫ 荒木君

幹　事　報　告

■　行事予定

【クラブ】

・6/21(火)13：30～第4回次年度理事予定者会議＠ゆの華亭 ※例会終了後

・6/22(水)18：30～戦略計画委員会＠佐助

・6/26(日)大村RC親睦ゴルフコンペ＠大村湾カントリー倶楽部

・7/30(土)10：00～インターアクト年次大会＠長崎ブリックホール

【地　区】

・6/26(日)10：45～ 大村RC親睦ゴルフコンペ＠大村湾カントリー倶楽部

・7/1(金)11：45～15：00 2022-23年度ガバナー・元・次期ガバナー懇談会＠東京

・7/6(水)17：00～2022-23年度第1回諮問委員会ならびに塚﨑ガバナー、岡田地区幹事の慰労会＠ホテルニューオータニ佐賀

・7/10(日)10：30～ RI第3地域戦略計画推進セミナー＠神戸

■　例会変更案内

【島原RC】

会場変更

6/21(火)ホテル南風楼「オーシャンズ」

⇒　潮館1Fレストラン「ラプラージュ」

※例会場都合の為

■　来　信

≪ＲＩ/日本事務局より≫

≪地区/各ＲＣより≫

・雲仙RC、諌早南RC：クラブ合併のお知らせ

　新クラブ名「雲仙 諌早南ロータリークラブ」

・米山記念奨学生視察、研修旅行について(お知らせ)

・風の便り Vol.7 No.11

・ウクライナへの支援活動概要報告のお願い

■　印刷物拝受

・週報：島原南RC　島原RC

■　他団体よりの案内

・大村市民憲章推進協議会：令和4年度大村市民憲推進協議会総会について(ご案内)

■　その他　該当なし

**ニコニコBOX（6/14）**

**竹房君・田原君**：パビさんようこそいらっしゃいました。木下君、雑誌の時間よろしくお願いします。この前の空き缶回収に参加された皆様お疲れ様でした。一年間の活動報告、森本大輔君、烏山君、西川君よろしくお願いします。**5**

**石坂君：**木下一功君の雑誌の時間ファイナル！有り難うございます。米山記念奨学生マガル・パビトラ・プンジェリさん頑張って下さい。**2**

**鶴田君：**先日は早朝より空き缶回収にご参加いただき皆様大変ありがとうございました。お疲れ様でした。**1**

**森本英君：**木下君の相も変わらず格調高い講話、又人生の生き方に非常に感銘致しました。1000万分の1に近づく事が出来ればと思います。一年間の活動報告の森本大輔君、烏山君、西川君大変ご苦労様でした。そして、ありがとうございました。**1**

**小計9,000円　合計775,327円**



**四つのテスト**

**1．真実かどうか**

**2．みんなに公平か**

**3．好意と友情を深めるか**

**4．みんなのためになるかどうか**

言行はこれに照らしてから

